

持続可能なインパクトを生み出そう

地区基本方針 新しい扉を開く
会長基本方針 ロータリー活動を楽しもう

第3133回例会 (8月4日)
会員卓話 田中三津彦会員

会長 和田 達也
幹事 笠松 誠一

●会長スピーチ

会長 和田 達也



毎日厳しい暑さが続いて、知らず知らずのうちに疲れがたまり、体調不良を起こしやすいので十分気を付けてお過ごしください。

さて、8月1日、京都にて財団セミナーに出席してきました。

2650地区96クラブより200名以上が集まり、ロータリー財団について学んできました。

2650地区の81クラブより財団補助金の申請があり、寄付金は有効に使われているとのことでした。

そのための一人当たり180ドルが必要になるとのお話でした。

勝山ロータリークラブも小規模でも短期プロジェクトに申請し、活動するようお願いされました。

現在、奉仕プロジェクト委員会にて検討されている活動に全員で賛同し楽しんで活動していきましょう。

●幹事報告

幹事 笠松 誠一

○8月27日(木) 公開例会のご案内 福井RC

ゲスト卓話 高崎RC パスト会長 田中久雄様

○勝山輪っか祭り開催の報告と協賛へのお礼
勝山輪っか祭り実行委員会

◆到着物

○2025-26年度 RYLA報告書

●出席報告

小林 達治

8月4日 欠席4名 80.95%
7月28日 欠席3名 85%

●ニコニコ報告

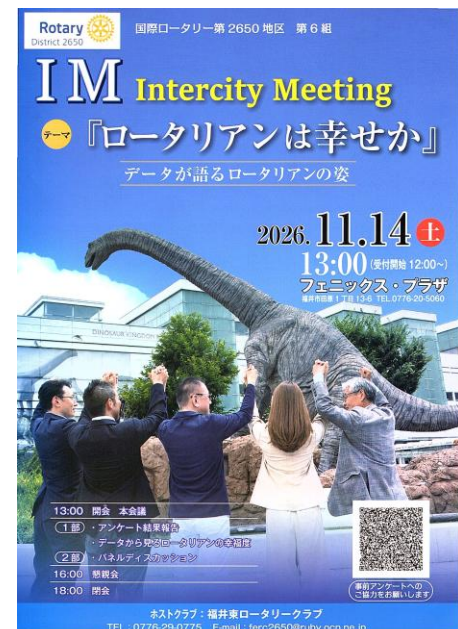
幅田 浩二

IMよろしくお願ひします 福井東RC
ビジターフィー 福井東RC・貴志英生様、林利幸様
会員誕生 斎藤清一郎・幅田浩二
結婚記念日 小林達治・山本泰司
伴侶誕生 小林達治
無届欠席 幅田浩二

2026-27年度 IMのご案内

皆様にアンケートに答えていただき、それを基に本会議で語っていきたいと思っています。
ご協力をお願いします。

ホストクラブ 福井東ロータリークラブ



8月18日 プログラム	25-26年度会計報告 クラブニングファンター	8月25日 プログラム	ガバナー公式訪問 事前クラブ協議会	9月1日 プログラム	ゲスト卓話 管工事組合長(予定)
----------------	----------------------------	----------------	----------------------	---------------	---------------------

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30 例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地 TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL: <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama> Email: katsuyamarc@gmail.com 編集発行・文責 公共イメージ委員会

会員卓話

勝山市の県の事業と県政の動向

田中 三津彦 会員



皆様、本日は県議会議員の立場で、最近の勝山市内における県の事業や県政の動向について、ご報告させていただきます。お手元の資料も併せてご覧いただければ幸いです。

最近の勝山市内における県の主要事業について

まず、皆様の生活に深く関わるインフラ、特に道路関係の事業からお話いたします。

国道157号の4車線化事業

長年の懸案でありました、国道157号の平泉寺町大渡から大野市南新在家までの4車線化事業が、4年前に事業化され、いよいよ今年度から本格的な工事に着手することになりました。当初の計画では総事業費97億円、令和18年完成予定とされていましたが、昨今の情勢を鑑みますと、事業費の増額や工期の延長は避けられない見通しです。

今年度は、まず大渡地区の高架橋の橋脚工事から着手し、並行して詳細設計を進めてまいります。特に、九頭竜川を渡る新しい橋の建設やトンネル工事は難易度が高く、鮎の漁期を避けるなど、慎重な施工が求められます。この区間は勝山と大野を結ぶ大動脈でありながら、唯一2車線のままでしたので、一日も早い4車線化の実現に向けて、引き続き県に強く働きかけてまいります。

トンネル照明のLED化

同じく国道157号ですが、トンネル内が暗いという皆様からのご指摘を受け、照明のLED化を進めております。下荒井のトンネルについては2022年にLED化が完了し、以前よりは明るくなったと実感しております。そして今年度は、谷トンネルの全面的なLED化が決定し、すでに勝山市内の事業者の皆様によって工事が進められております。

大雨災害からの復旧と防災対策

2022年、2023年と続いた大雨災害からの復旧も着実に進めておりますが、河川の流路改善や堤防のかさ上げなど、まだ完了していない事業もございます。また、砂防堰堤の改修や新設も重要な課題ですが、今年度は国の予算が大幅に削減された影響で、新規着工が見送られるという厳しい状況にあります。梅雨や台風の季節を迎え、防災インフラの整備は急務でありますので、補正予算の確保などを通じて、事業の早期完成を国や県に強く要請してまいります。

「恐竜」を軸とした地域振興について

次に、勝山の代名詞ともいえる「恐竜」に関連した取り組みについてご報告します。

教育機関の連携と人材育成

この春、県立大学の恐竜学部勝山キャンパスが恐竜博物館の隣に開学し、多くの学生がこの地で学び始めました。また、勝山高校では、県外から生徒を募集する「地域みらい留学生」制度が始まり、新築された寮で新たな学校生活を送っています。

これは、大学生や高校生が勝山に集い、恐竜博物館や大学と連携しながら、恐竜をはじめとする地域の魅力を深く学ぶ環境を整える取り組みです。実は、勝山高校の寮の新築は当初の計画より数年先でしたが、「地域未来留学生」の受け入れを機に、県の教育委員会に働きかけ、前倒しで実現したという経緯がございます。

さらに、この夏には全国の中高生を対象とした「恐竜ジュニアアカデミー」が開催されます。これは、観光だけでなく、学術的な側面からも恐竜ブランドを磨き上げ、子どもから大人まで切れ目なく恐竜を学べる環境を構築する試みの一環です。

県政の新たな動きと課題について

最後に、6月の県議会定例会で示された県政の新たな方針と、それに伴う課題について触れさせていただきます。

新たな政策方針と長期ビジョン

6月、県から「新たな政策方針」として一枚の資料が示されました。福井県には、2020年に策定された「長期ビジョン」という20年間の壮大な計画があり、これまでの県政はこのビジョンに基づいて運営されてまいりました。

この新たな方針の位置づけについて議会で質したところ、県は「長期ビジョンは今後も県政の根幹であり、変更はない」としながらも、新しい方針を「より高い視点からのスローガン」と説明しており、その意図がやや分かりにくいと感じております。県民の皆様と共に作り上げた重要な計画ですので、その整合性については、今後も注意深く見守り、確認してまいりたいと考えております。

全世代への支援、特に高齢者支援の拡充

新方針では「全世代リスペクト」が掲げられていますが、6月補正予算における高齢者向け事業の予算規模は、約283億円で2000万円弱と、決して十分とは言えない状況でした。県の人口の多くを占める高齢者の皆様が安心して暮らせるよう、公的年金だけでは生活が厳しい方々への支援など、県独自の施策を検討すべきではないかと提案いたしました。これに対し、担当部長からは「勝山市の事例なども参考に検討する」との前向きな答弁をいただきましたので、具体的な施策に繋がるよう、今後も強く働きかけてまいります。

結びに

昨年度の恐竜博物館の入館者数は過去最高を更新しましたが、目標の140万人にはまだ届いておりません。大阪・関西万博後の連携強化なども視野に入れ、観光と学術の両面から恐竜ブランドをさらに磨き上げ、勝山、そして福井県の発展に繋げていく所存です。

また、来春には統一地方選挙が控えております。私も、皆様の負託に応えるべく、引き続き県政の場で勝山市の発展のために尽力したいと考えております。

本日は、県政の一端をご報告させていただきました。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。